

## 2. 自然的状況

### 2.1 気象の状況

長野県の気候による地域区分を図 2.2.1 に示します。これによると、調査区域は b 「木曽谷の気候」と a3 「木曽山脈の山岳の気候」に位置します。「木曽谷の気候」は木曽川に沿った気候で、伊那谷の気候と比べて山地的で気温が低く、降水量がやや多いのが特徴です。また、「木曽山脈の山岳の気候」は降雪や降雨が中部地方ではやや少ないのが特徴です。



出典：「日本地誌 第11巻」（昭和47年 日本地誌研究所）

図 2.2.1 長野県の気候区分

次に、調査対象地域内の南木曽気象観測所と須原気象観測所の平年値を表 2.2.1 に示します。須原では降水量だけを観測しています。

また、南木曽の気温と降水量のグラフを図 2.2.2に、気象観測所の位置を図 2.2.3 に示します。

これによると、南木曽では年平均気温が 11.2 、年間降水量が 2,491.6mm、須原では年間降水量が 2,251.3mm となっています。

表 2.2.1 気象概況

<南木曽気象観測所 1971～2000までの準平年値>

要素	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平均気温( )	-0.6	-0.1	4.2	10.1	14.7	18.7	22.0	23.2	19.3	13.1	7.4	1.9	11.2
最高気温( )	4.2	5.3	10.1	16.4	20.8	23.7	26.9	28.7	24.4	19.0	13.2	7.2	16.7
最低気温( )	-4.4	-4.4	-0.7	4.4	9.4	14.7	18.4	19.4	15.7	8.9	3.3	-1.8	6.9
日照時間 (合計時間)	103.7	122.6	150.7	164.0	143.0	109.0	122.1	161.1	122.8	138.1	120.0	115.1	1570.7
降水量(mm)	116.6	116.2	184.8	190.4	213.9	326.7	385.3	236.5	322.2	153.2	133.2	87.1	2491.6

出典)「平年値 1971～2000(CD-ROM)」(平成 13年 気象庁)

<須原気象観測所 1971～2000までの平年値>

要素	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
降水量(mm)	93.7	100.0	175.3	185.0	210.5	304.6	355.0	186.2	288.2	149.3	131.6	71.9	2251.3

出典)「平年値 1971～2000(CD-ROM)」(平成 13年 気象庁)

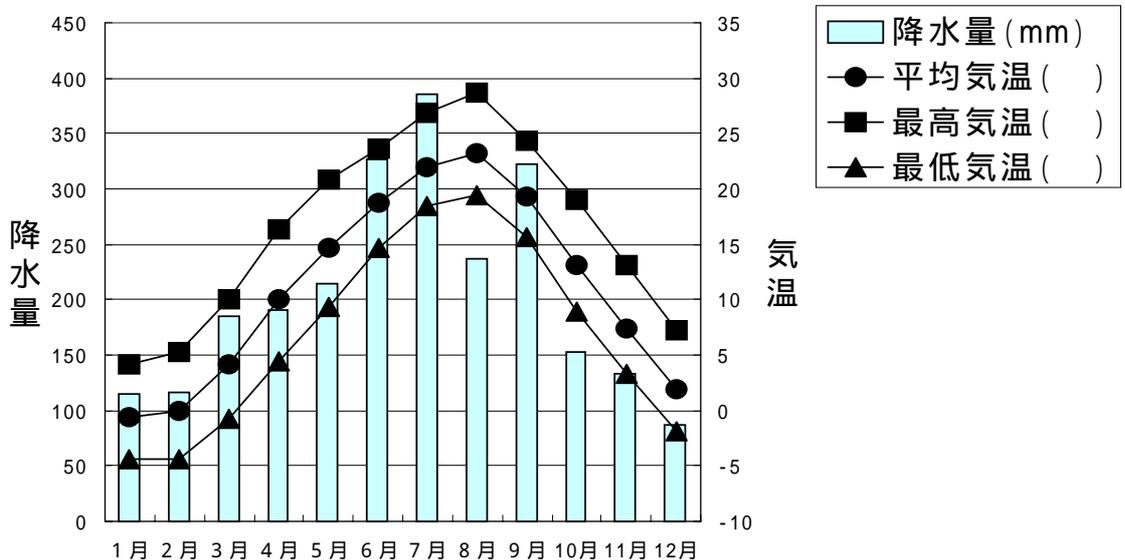


図 2.2.2 南木曽気象観測所の準平年値

図 2.2.3 気象観測所位置図